

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者

受講生：黒岩、村上

スタッフ：湊、上戸、原田、古淵、中塚（CL）

2. 山城／ルート

芦屋ロックガーデン、荒地山

3. 交通手段

公共交通機関

4. 行動記録

<入山日：2022年7月2日（土）>

芦屋川駅 8:00－高座の滝 8:40－（地獄谷）－小便滝 9:10－万物相 10:00－

キャスルウォール 10:30－荒地山 11:30-11:50－高座谷堰堤（テント設営） 12:30-13:00

－芦屋川駅 13:30

5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか？

予定通り実施できた

b) 事故に繋がりそうな要因（ヒヤリハット）が発生したか？

発生した場合、具体的に記す

→ 特に無し

c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか？

→ なし

6. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

・直射日光が強く、気温も高い、極めて厳しい条件だったが、特に問題の発生は無し。適度な給水と日陰での休憩を取って、体調不良にならないよう気を付けた。

7. 参加者感想

<村上>

芦屋地獄谷から荒地山へのルートは山が好きになったキッカケのルートで、神戸労山に入ってから初めての芦屋地獄谷でしたが楽しく山行できました。

山を始めた頃は、まさか自分が山岳会に所属するとは思っていませんでしたが...

簡易ハーネスのやり方、テントの張り方等を学ばせて頂いたり、色んな経験談や知識を習得できるので改めて神戸労山に入会してよかったと感じました。

今日は危険を感じるほどの暑い中、スタッフの皆さんありがとうございました。

次は修了山行での槍ヶ岳を楽しみにしています！！

<黒岩>

久しぶりに地獄谷から荒地山に行きました。

このルートは岩が多いコースで、前回行ったときはまだRC受講前だったので岩は滑るかもしれないし、掴むところもよくわからないし怖いという気持ちがありました。しかし、RC教室を受講させていただいたお陰で、岩も三点確保し落ち着いて登れば恐くないことが分かり、今回の教室では岩は友達！とまではいきませんが、岩は人間と同じで弱点や攻略法があるという気持ちで落ち着いて登ることができました。

今回教えていただいた、スリングとカラビナで作った簡易ハーネスは今後自分の山行でも是非活用したいので、忘れないように復習を心がけたいです。

暑いなかご指導いただきましたスタッフの方々ありがとうございました。私もスタッフの方々のように新人の方に安全登山を指導できるようなメンバーになれるよう努力を重ねていきたいです。

<上戸>

受講生のお二人さん、岩稜帯も難なく歩いていた様に思いますが、特に岩稜帯は慎重且つ確実に歩を進めることが大切ですので、心の何処かに留め置いてください。

<原田>

自分の体調から医師に山行の禁止を申し渡され、その後、その治療(ずっと薬が離せません)の上で何とか個人でハイキングを再開していました。会の皆さんとの山行はそれ以来初めてでしたが、今日参加した人たちは元気で、付いて行けていなかったです。年齢も含め、現在の私の状態を思い知らされました。でも多くの人と山行することが、より楽しみが増えるということも知らされました。受講生の二人は、経験者らしく歩き方もしっかりし、体力もありそうです。心配ないと思いますが、計画書をよく見て、忘れ物がないようにしないと。思わぬ事故を招くことにつながりますので自身できちっと点検することが必要だと感じました。

<古淵>

岩稜トレという名目だったが暑さへのトレーニングでもあったように思う。

この時期の山行は暑さ対策が必要だと痛感した。

また本人には自覚症状がなく頑張りすぎてしまう場合もあるので、同行メンバーでお互いの体調に注意していく事も大切だと思う。

<中塚>

槍ヶ岳を登り、テントに泊まることを想定し、岩稜歩行とテント設営のトレーニングを行いました。私にとっては殺人的な暑さでしたが、受講生の二人はある程度の経験もあるため、体力的にも技術的にも夏山には十分適合していると感じました。

これから山行に応じた装備の必要性を理解し、テント生活にも慣れて、山行を主催できるようになって行ってもらいたと思います。

スタッフの皆さまも暑い暑い中、お疲れさまでした。

報告者氏名：中塚文教

2022年7月3日(日)



高座谷堰堤上でテント設営トレを実施、次からは完璧でしょう